

「地方活性化を担ったサイクルスポーツイベントとサイクルツーリズムについて」

講師：山口 文知氏
<サイクルアドバイザー・自転車文化センター勤務>

<講師からの自己紹介文>

1990年初頭、マウンテンバイク大会の黎明期に中部山岳のスキー場を中心に、ゲレンデにコースを造り、参加者と共に手探りで開催しましたが、競技の経験や知識不足、ゲレンデの地形に変更を加えられない制約などから怪我人が続出しました。その他、日本初の本格ヒルクライムイベントであり、今年で34回目の開催をした乗鞍ハイランドフェスティバル（現マウンテンサイクリング in 乗鞍）の初期から中期までの開催を担い、第1回の開催では参加者300人足らずでしたが、乗鞍高原のロケーションやヒルクライムブームが後押しし、瞬間に4000人超える程になりました。しかし、本来「ヒルクライムイベントでは怪我人は出ない」と言われていたにも関わらず、怪我人と共に死者が出てきました。この痛ましい事態に対処し向き合うため、痛切に感じたのは、地元民をはじめとした大会関係者とのコミュニケーションであり、リスクマネジメントでした。私は当時それらを肌身で感じながら経験し、培ってきました。今回、サイクルスポーツイベントに対する思いと共に、私の自転車の原点であるランドナー（小旅行車）での旅の経験と培ったコミュニケーションとリスクマネジメントを通じてサイクルツーリズムについて語りたいと思います。

<プロフィール>

山口文知、1958年埼玉県生まれ。小学生の時に遠乗りサイクリングを始め、中学時代にランドナーを買ひ、本格的にサイクリングを始める。高校や大学在学中もサイクリング部に所属し、全国各地を回った。

平成4年に日本サイクリング協会に入社し、それまでの経験を活かしサイクリングインストラクター等の野外活動指導者の育成や、初心者を対象にしたサイクリング教室に従事するかたわら、日本最大級のヒルクライムイベントである「全日本マウンテンサイクリングin乗鞍」（参加者約4000人）等多数のサイクリングイベントを立ち上げる。

平成27年には日本サイクリングガイド協会と協力して、サイクリングガイド育成のためのカリキュラムや検定問題等を作成し、実際にサイクリングガイドの検定委員を担い、愛知県及び、沖縄県等にサイクリングガイドを誕生させる。

平成29年より日本自転車普及協会の自転車文化センターに従事し、現在に至る。



●開催日時：2019年11月21日(木) 18:00～21:00 (開場17:30)

●会場：自転車総合ビル6F 601会議室(東京都品川区上大崎3-3-1)

●参加費：セミナーのみ1,000円/セミナー&懇親会2,000円
※当日受付にて現金でお支払いください。

●申し込み方法：本会ホームページよりお申し込みください

●主催：一般財団法人日本自転車普及協会
TEL 03-4334-7952(月～金 9:00～17:00)

●会場アクセス：東京メトロ南北線・都営三田線・東急目黒線・JR山手線『目黒』駅下車、徒歩3分

※自転車でお越しの方・・・駐輪スペース(事前申込制)をご利用ください。ただし、盗難などが発生した場合、主催者は一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

※自動車・オートバイ駐車場はございません。

